

佳作

# ハツミちゃんの手紙

宮崎県 延岡市立延岡小学校六年 渡辺 真以

私には、おばあちゃんといひおばあちゃんがいます。ハツミさんというのは、ひいおばあちゃんのことです。ハツミさんは、八十三才になります。少し腰は曲がっていますが、とても元気です。

この夏私は、ハツミさんと過ごす時間がたくさんありました。その中で「すごい」と思ったことがいくつかあります。

その一つ目は、ぬい物です。自分の着られなくなった洋服や着物で、うでぬきや、雑きんを作ります。年が八十三才なので当然目が悪くてメガネをかけないと、針に糸を通せないのに、「いつもしてるからかんで通せるんだよ」と言っただけで、一発で糸を通すのです。ハツミさん、「すごい」と私は思いました。私も五年生から家庭科でぬい物を習ったのでハツミさんに教わって一緒に雑きんをぬってみました。とてもハツミさんにはかないません。それでも、やさしく、「よくできたね」とほめてくれました。もちろん出来上がりは比べものにはなりませんでしたが、大切に使うと心に決めました。

二つ目は、草ぬきです。日ごろから働き者で有名なハツミさんは家の回りやお寺やお墓の回りの草を取ったりしているそうです。

私は、家の回りの草取りの手伝いを一緒にしました。が、なかなかうまくぬけません。となりで汗をかきながらハツミさんが手早く草をぬいている姿を見て、又負けてはいられないとぬくのですが、道具を使ってもキレイにはぬけなかつたので、「コツを教えてください」とたずねると根にまつすく道具をあてないと、途中で切れると教えてもらい実行しましたが、これも又ハツミさんにはかないませんでした。

ハツミさんよりも私は若いのにハツミさんのや

る事の半分も出来ません。勉強では負けないかもしれませんが、何十年も生きているハツミさんはもの知りだし生活の知恵もたくさん知っています。おじいちゃん、おばあちゃんからも色々なことを教えてもらうけれども、ハツミさんの方がもっとすごいと思いました。

私はハツミさんにはもっと長生きしてもらって色々なことを教えてもらったり、色々な話を聞かせてもらいたいと思っています。

ハツミさん大好き。

